

那珂川のアユ遡上・放流状況調査

河川流量・水温・アユの遡上及び放流状況

(平成 19 年度～)

手塚 清

目的及び方法

那珂川のアユ資源動向を把握し、適正な漁場運営に寄与するため、前年度に引き続きアユの遡上状況及び放流状況について調査した。

アユの遡上状況については茂木町山内(河口より 48km)、大瀬(同 53km)、竹原(同 57km)の 3 地点において 3 月 1 日～6 月 30 日の間、現地調査員に委託し毎日の遡上状況を観察記録した。

遡上群数については、河川の増水や濁り等による見過ごし等を考慮し、観察件数の多い 2 者の合計数とした。また、初遡上日の確定については当场に寄せられた情報なども参考にした。アユの放流状況については所管 4 漁協の放流記録によった。

関連する情報として、アユの遡上期(3 月)からアユ漁終了期(11 月)までの河川流量については、国土交通省の茨城県常陸大宮市野口(河口より 39 km)における那珂川流量の計測記録によった(暫定値)。水温については、水産試験場取水口(大田原市佐良土、河口より 86 km)に設置した電子式水温計により 1 時間ごとに測定した。

結果

1. 那珂川の流量および水温

図 1 に 3～11 月の月別平均流量を示した。本年度 3、7 月は欠測であったが、本年度は 10 月までおおむね平年を上回る流量があったものと思われる。なお、一日の最大流量は 8 月 29 日の 896 トン/秒であった(図 1)。

3～11 月の月別平均水温を図 2 に示した。全体的にはほぼ平年並みに推移したが、3～4 月は平年よりやや低く、5 月はやや高かった(図 2)。

2. アユの遡上状況

本年度は 3 月 22 日に初めて遡上が見られ、平年より 13 日早く昨年より 7 日早かった(図 3)。

また、遡上するアユの群れを小群(だんご状)と大群(帯状)に分けてその数を記録したが、本年度は図 4 に示したとおり、

平成元年以降 3 番目に多かった(図 4)。

3. アユの放流状況

本年度は 4 漁協全体で、18.1 トン、109.4 万尾のアユを放流した。平均体重は 16.5g であった。図 5 にこれまでに放流されたアユの放流尾数、平均体重の推移を示したが、放流尾数は平成 5、6 年当時に比べて増減はあるもののここ数年少なくなっていること、放流時の大きさもここ数年変動していることが明らかになった(図 5)。

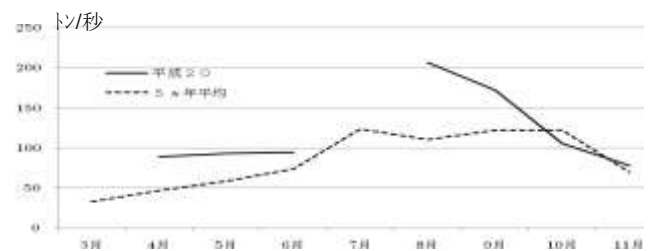


図 1 那珂川の流量(茨城県野口：暫定値)

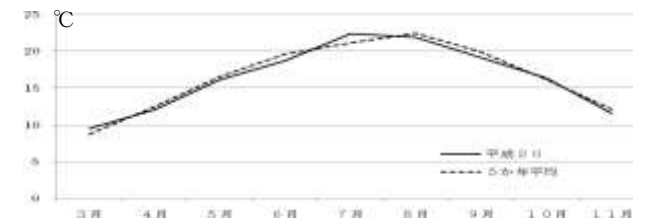


図 2 那珂川の水温(佐良土)

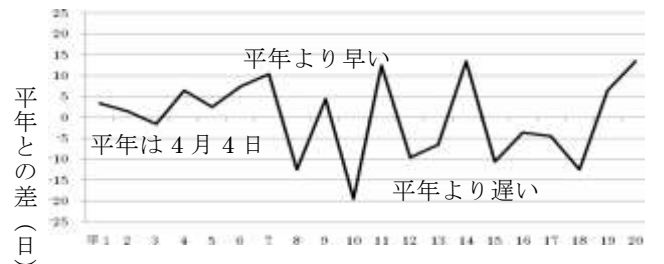


図 3 初遡上日の推移

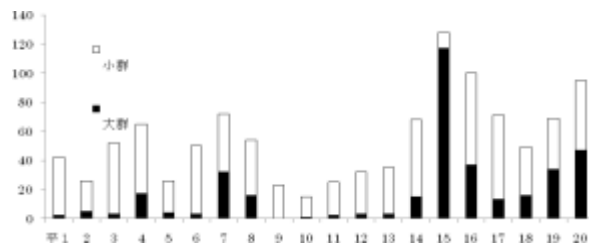


図4 遡上群数の推移

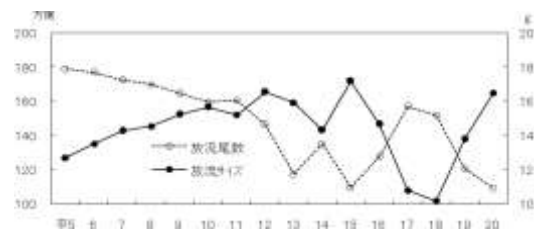


図5 放流量と放流サイズの推移

(指導環境部)